



TALENT PSYCHOLOGY

すべての人に、それぞれの才能を。

才能プロファイリング レポート

対象 **崎本さん**

発行日：2026年9月18日

© 2026 一般社団法人 才能心理学協会. All rights reserved.

この診断について

才能プロファイリングAIは、世界中の経営者・起業家・アスリート・芸術家・科学者の才能を4年かけて分析し、その共通点を体系化。さらに15年・のべ6,000人のカウンセリング事例と照らし合わせて開発された、才能診断AIです。

才能プロファイリングは、本来、対話を重ねながら進めます。やり取りの中で才能につながる新たな手がかりが出てくれば、それも織り込んで深めていく——それが対面の強みです。

本レポートは、いただいたご回答のみをもとにした、オンラインでの才能診断です。直接お話を伺って結果を擦り合わせるができないため、中には腑に落ちない部分が含まれるかもしれません。

ここでお伝えするのは、あなたの可能性を強く示す**ひとつの仮説**です。ご自身の未来を照らすヒントとしてご活用ください。より確かな特定をご希望の方には、認定才能プロファイラー®との対面セッションをご用意しています。

ご回答（5項目）

二十歳までのポジティブな経験 笑い溢れる家族

二十歳までのネガティブな経験 お金がなかった

今の興味・好奇心 楽しいこと、勉強、チャレンジ

今の問題意識 お金がなくなること

気になる人 オシャレな人、明るい人、稼いでいる人、求めている人

診断結果サマリー

あなたの才能

笑いと喜びが自然に溢れる場をつくり続ける力

価値観

「諦めずに、求め続けること」

才能を支える3つの強み

01

場を明るく和ませる「ムードメイク力」

02

諦めずに学び、挑み続ける「向上心」

03

豊かさや成果に向かって前進する「推進力」

モチベーションの源泉

あなたを突き動かしているのは、大きく2つの欲求です。

才能が活きる場

笑いと喜びの場をつくりながら、それを自分の力で守り、さらに豊かに育んでいける環境

目次

1	才能の全体像.....	5
2	才能の源泉.....	5
3	モチベーションの源泉.....	6
4	価値観.....	6
5	いま向き合っている課題.....	6
6	弱点——才能の裏返し.....	7
7	才能を活かせる方向性.....	7
8	仕事・ビジネスでの具体的活用	8
9	今日からの小さな一歩.....	8
10	プロファイラーからの一言	9
11	対面で確かめたい問い	9
+	才能心理学とは／才能プロファイリングとは	10
+	次のステップ — 才能を活かすために.....	11
+	おわりに	12

1 才能の全体像

あなたの才能は、「笑いと言びが自然に溢れる場をつくり続ける力」です。楽しさも豊かさも、決して妥協せず求め続ける情熱があるからです。

幼少期、家族の中で自然と言びが生まれていた——その中心にはいつもあなたがいました。同時に、「もっと楽しいこと」「学びや挑戦」へと意識を向け、前へ進もうとするエネルギーも途切れることはありません。

「場を明るくする力」と「貪欲に求め続ける力」。この2つが、あなたの中で豊かに共存しています。

この2つの関係性には、2つの見立てができます。1つは「笑い溢れる場を守り続けるために、豊かさを求める力が育った」というプロセス。もう1つは「笑いを生み出す力と、豊かさを求める力が、それぞれ独立して磨かれてきた」というプロセスです。

この才能は、次の3つの強みに支えられています。

- 場を明るく和ませる「ムードメイク力」
- 諦めずに学び、挑み続ける「向上心」
- 豊かさや成果に向かって前進する「推進力」

2 才能の源泉

あなたの才能には、2つの明確な源泉があります。

1つ目は、「笑いが自然に溢れていた家族の記憶」です。狙って作られたものではなく、気づけば笑顔が生まれていた空間に身を置き続けてきた体験。その記憶が、喜びを自然発生させる才能の土台になっています。

2つ目は、「お金がなかったという過去の苦い経験」です。欲しいものが手に入らず、選択肢が限られていた不自由さ。その体験が「豊かさを諦めずに求め続ける力」の強いモチベーションになっています。

3 モチベーションの源泉

あなたを突き動かしているのは、大きく2つの欲求です。

1つは、かつて家族から与えられる側だった「笑いの場」を、今度は自分の手で生み出したいという欲求。

もう1つは、お金がなくて我慢を強いられたあの感覚を二度と味わいたくない、という欲求です。

この両輪が、「娯楽や楽しみ」に向かう情熱にも、「学びや挑戦」に向かう情熱にも、強い駆動力を与えています。

4 価値観

あなたが大切にしている生き方は、この一言に凝縮されています。楽しさも、学びも、挑戦も、そして「お金がなくなる不安」さえも——すべて「前へ求め続ける」という同じ姿勢から生まれています。だからこそ、貪欲に前進している人たちに自然と目が向くのです。

「稼いでいる人が気になる」とおっしゃっていました。しかしそれは、単に金銭的な欲求だけを意味しているのではないはずです。本当は、稼いでいる人たちと同じように「笑いや喜びの場を、これからも守り続けられるという確かな安心感」を手に入れたい——その願いの現れではないでしょうか。

いずれにせよあなたは、学びや挑戦に向かい続ける自分自身の未来の姿を、彼らの中に映し出しているのです。

5 いま向き合っている課題

楽しさ、学び、挑戦への意欲は、幼少期から現在まで一貫して続いています。あなたの才能は、今まさにリアルタイムで動いている力です。

現在のプロセスを整理すると、「笑いや喜びを生み出す力」はすでに開花し、日常で発揮されている段階です。一方で、「豊かさを求め続ける力」は、自分の才能として自覚し、これから本格的に発揮していく移行期にあります。

ここで向き合うべき大きなテーマが1つあります。それは「お金がなくなることへの恐怖心」です。過去の体験から生じる「また失うのではないか」という恐れが、行動にブレーキをかけています。

しかし、ここであなたの本来の強みが生きてきます。

家族の記憶を思い出してみてください。お金の多寡に関わらず、そこにはいつも笑いが溢れていました。「お金がなければ笑いを守れない」という思い込みが本当かどうか、一度問い直してみる価値があります。お金の有無を超えて「心の豊かさ」を感じ取れる感性を、あなたはすでに持っているからです。

もう1つのテーマは、「エネルギーの方向性の設計」です。関心対象が幅広いため、何を学び、何に挑むかという「焦点」がまだ絞り込めていません。このターゲットを明確に設定することが、次の一歩となります。

6 弱点——才能の裏返し

「成果や豊かさへ向かう推進力」は、過剰に働きすぎると、すでに手にしているものがあっても「まだ足りない」と不足感ばかりに目が向くようになります。

せっかく手に入れた笑いや豊かさを味わう間もなく、次へ次へと焦って動いてしまう——そうした消耗のパターンとして現れることがあります。

これは欠点ではなく、推進力が強すぎるが故の現象です。「今すでにある豊かさに一度目を向ける」と意識するだけで、焦りや無駄な消耗は劇的に和らぎます。

7 才能を活かせる方向性

あなたの才能が最も輝くのは、「笑いと喜びの場をつくりながら、それを自分の力で守り、さらに豊かに育んでいける環境」です。お話の中からは、3つの方向性が立ち上がってきます。

- **楽しさを分かち合う役割** — 人を楽しませ、場の空気を明るく変える（イベント企画、接客、コミュニティ運営など）
- **挑みながら成長する環境** — 常に新しい学びがあり、挑戦するほどに能力が伸ばせる場
- **豊かさ・成果へと繋げる仕組み** — 成果が成果給や収入にダイレクトに反映される仕事、自らの楽しい企画を事業化する役割

「お金がなくなる不安」が消えないのは、才能が不足しているからではなく、そのエネルギーを注ぐ「明確な標的」が決まっていないからです。

「楽しさ」「挑戦」「収入」が一つに重なる領域——つまり「自分が楽しいと思える企画を形にして収益化する」という方向性は、不安を守りの姿勢ではなく、前向きな行動力へと変換する最高の選択肢になります。

あなたが楽しむほどに人が集まり、喜びの循環が生まれていく。その具体的なデザインを、一緒に描いていきましょう。

8 仕事・ビジネスでの具体的活用

▶ 活きる役割・ポジション

場を明るく照らし、人を巻き込んでいく立場です。イベントの進行役、接客、コミュニティの主宰者など、人と直接関わりながら空気感をつくる役割で最大のパフォーマンスを発揮します。また、常に新しい学びや挑戦が求められる環境ほど、あなたの才能は磨かれます。

▶ 活かし方のステップ

まずは現在の環境で、「場のムードメーカー」としての役割を意識的に引き受けてみることです。周囲が喜ぶ手応えを実感できたら、その役割を自身の仕事の軸へとステップアップさせていくアプローチが有効です。

▶ 収益・成果に繋げる視点

「人を楽しませ、場を盛り上げる技能」そのものを、対価が発生するプロのスキルとして再定義することです。お金への不安は、この力を「自力で稼ぐ手段」として磨き上げていくことで、確固たる自信へと変わっていきます。

9 今日からの小さな一歩

① マインド面のワーク：「お金以外の豊かさを、1つ見つける」

1日に1回、その日感じた“お金ではない豊かさ”をノートに1つ書き留めてみてください（誰かの笑顔、楽しかった会話、思わず笑ってしまった瞬間など何でも構いません）。不安は「不足」に意識を向けさせる習性があります。すでにある豊かさに光を当てる習慣をつけることで、焦りからではなく、心のゆとりから前進できるようになります。

② ビジネス活用の小さな実験：「意図的にムードメーカーになる」

今日、人が集まる場面で一度だけ「意識的に場を明るくする役割」を買って出てみてください。その結果、周りの反応がどう変わるかを観察するだけで十分です。あなたの資質を「単なる性格」から「ビジネスで使える技能」へと捉え直す、小さな第一歩になります。

10 プロファイラーからの一言

あなたは無意識のうちに、お金を「笑いの場を守るための必須条件」だと捉えていないでしょうか。

しかし、あなたの原体験はその逆の真実を物語っています。お金の有無にかかわらず、そこには確実に豊かな笑いが存在していました。

つまり、その場の源泉はお金ではなく、「あなた自身」だったのです。

火を起こすのは薪ではなく、火種です。薪を増やすことに奔走する前に、あなた自身が豊かな「火種」であることを思い出してください。

「お金以外の豊かさを見つける」ワークは、その火種を毎日確認するための作業です。そしてその火種は、ビジネスの現場でも堂々と使ってよい、あなただけの強力な武器なのです。

11 対面で確かめたい問い

この分析は、ご回答いただいたデータをもとに導き出した初期の才能仮説です。対面セッションでは、まず次の質問を投げかけさせてください。

豊かさを求める気持ちは、ご自身の経済的な安心を手に入れたい想いが強いですか？ それとも、家族や仲間との『笑いの場』を守るために手に入れたい想いが強いですか？ あるいは、その両方が同じくらい大切でしょうか？

この一問に対する答えの中に、「豊かさを求める力」の本当のベクトルが隠されています。行き先が明確になれば、あなたの才能を仕事でどう発揮し、具体的な成果や収入に結びつけていくかというロードマップもクリアに描くことができます。才能心理学協会認定 才能プロファイラー®との対面セッションで、この仮説をベースに深掘りしていきましょう。



すべての人に、それぞれの才能を。

一般社団法人 才能心理学協会

<https://pogss.org/>